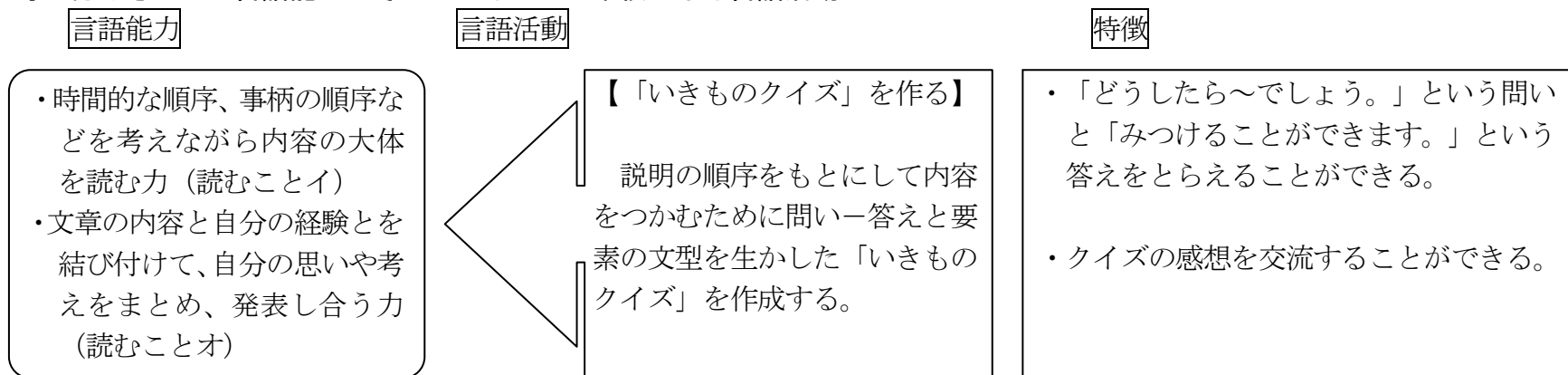


第1学年国語科学習指導案

日時 平成24年9月28日(金) 5校時
児童 男子 1名 女子 7名 計 8名
指導者 上野 妙子

- 1 単元名 しっていることと むすびつけてよもう
- 2 学習材名 「みいつけた」(筆者:大野正男)
- 3 身に付けさせたい言語能力とそれに迫るための中核となる言語活動



4 単元について

(1) 児童について

児童は、「くちばし」の学習において、問いかけに対して答える文型について学び、くちばしの形と使い方を関連付けて考える学習を行ってきた。これらの学習を通して、児童は「これはなんのくちばしでしょう。」という問いに対して「これは、〇〇です。」と答える力がついてきた。また、挿絵やくちばしの形を表す言葉から特徴をとらえ、形とえさのとり方を関連付けて考えられるようになってきている。しかし、言葉の意味を理解したり、内容と自分の経験を結び付けて自分の思いや考えを発表したりする力については、これから育てていかなければならない。このような実態を踏まえ、身に付けさせたい言語能力に迫るために必要な言語能力を押さえていきたい。(指導計画参照)

(2) 学習材について

本単元で取り扱う学習材「みいつけた」は、学習材が「問い」に対して1段落ずつ答えるかたちで構成されている。また、いきもの毎に1段目の問いに答える形で(1)場所(住み家)(2)特徴(3)答え(見つけ方)という順序でくりかえされていることから、説明の順序がわかりやすい。また、はじめのページに絵と問いが書かれていて、ページをめくるといきものの住み家といきものの答えがあるというクイズの構成がくり返されているので、問いと答えの関係をつかむ手がかりとなる。また、クイズを交流することで、自分の経験と内容を結び付けて考えたり、自分の思いや考えをもたせたりすることができる。以上のように、文型や説明の順序に着目させたり自分の考えを交流させたりする学習を進めることで、本単元で身に付けさせたい言語能力に迫ることができると思う。

(3) 指導について

本単元では、説明の順序を手がかりに内容の大体を読む力をつけるために、説明の文型や順序を活かした「いきものクイズ」を作りクイズ大会を行うという言語活動を通して、単元でねらう言語能力に迫っていきたい。そのために、各段階において、以下のことを工夫していきたい。

つかむ段階では、いきもの名前や様子など、知っていることを発表する中で、いきものの住み家(場所)や特徴や見つけ方などに興味をもたせるよう、絵の提示や発問を工夫し、学習材「みいつけた」を読むことにつなげていきたい。また、「いきものクイズ」の取り組みを提示することで、学習したことが「クイズの交流」として完成していくという見通しをもたせるとともに意欲付けを図りたい。深める段階では、文型や順序、いきものの住み家(場所)や特徴とその見つけ方の理解を深めることができるよう、文型ごとに色分けをしたカードを提示したり、学習シートの工夫を図ったりしていきたい。また、文の並べ替えをしたり住み家(場所)や特徴と使い方の関係を考えて文を選んだり、書いたりする学習を段階的に取り入れることで、思考力・判断力・表現力を高めていきたい。また、ともだちのクイズを聞いた感想の中に自分の経験と同じところや新しく分かったことを交流させていきたい。活かす活動では、深める段階で学んだ学習方法や学習シートの様式を活用することで、読み取ったことをもとに、主体的に活動を進めることができるようにしていきたい。感想の交流もペアから学級全体へと広げていきたい。広げる段階では、できた「いきものクイズ」を友達同士で出し合ったり、言葉の森集会で全校に見てもらったりすることを通して、学習への満足感や充実感を高めていきたい。

5 単元の目標

【国語への関心・意欲・態度】・文の内容や問いと答えという文型に興味をもって文を読もうとしたり、進んで経験と結び付けてクイズを作ったり感想をもったりする。

【読むこと】・問いと答えの関係を意識しながら書かれている内容を読み取ることができる。(イ)
・事柄の順序がわかり、どのように文章が構成されているかということを理解している。(イ)
・知っていたことと初めて知ったことを区別している。(オ)

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】・主語と述語の関係を正しく理解している。(1)イ(カ)

6 単元の評価規準

【国語への関心・意欲・態度】・文の内容や問いと答えという文型に興味をもって読もうとしたり、進んで経験と結び付けてクイズを作ったり感想をもったりする。

【読む能力】・「どうしたらみつけることができるでしょう。」という問いと「場所」「見つけ方」の答え方を組み合わせてとらえている。(イ)
・「いきものクイズ」の内容と自分の経験を結び付けて感想をもち、友達と交流している。(オ)

【言語についての知識・理解・技能】・主語と述語の関係が正しい文章を書いている。(1)イ(カ)

7 単元の指導計画（10時間）*本時は太字部分

段階 (時数)	主な学習活動	評価規準（評価方法）	身に付けさせたい言語能力に迫るための言語活動 の位置付け	他教科との関連 生活科「あきとともだち」の主な学習活動
【つかむ】 中核となる言語活動を知り、学習の見通しをもつ。 (1)	2①生活単元のまとめとして「あきのいきものくいずたいかい」の計画を立て、学習の見通しをもつ。 「あきのいきものくいずたいかい」をしよう	①「いきものくいずたいかい」に意欲的に取り組もうとしている。 (発言) 【関一1】	【中核となる言語活動】 いきものクイズを作る ・クイズの表現様式→学習材の構成をもとにまとまりに書く内容をつかむ。(☆) ・交流するための視点→知っていたことと初めて知ったことから、感想をもつ。(◇)	1「なつとともだち」の学習から「あき」の様子の変化を調べる学習計画を立てる。
【深める】 「みいつけた」を読んで、文型と順序をとらえたクイズを書く。 (5)	3②③「みいつけた」を読み、全体の構成を知る。 4④問いの文と答え「だんごむし」を読み取り、「だんごむしのくいず」をつくる。 5⑤だんごむしの文型をもとに、問いに対する答え「せみ」を読み取り、「せみのくいず」をつくる。 6⑥3つの段落の順序をもとに「ばった」について読み取り、「ばったのくいず」をつくる。	②③問いの文を見つけ、答え-答え-答えで説明されていることがわかる。 (発言、シート) 【読むイ-1】 ④書かれている事柄の順序やその内容を理解している。 (発言、シート) 【読むイ-2】 ⑤だんごむしの文型と内容を比較しながら読み、書かれている内容を理解している。 (発言、シート) 【読むイ-3】 ⑥3つの事柄の順序を正しく並べるとともに書かれている内容を理解している。 (発言、シート) 【読むイ-4】	☆形式段落に分けることができる。 ☆1字下がりを手がかりに分ける。 ◇知っていたことと初めて知ったことを区別してとらえる。 ◇自分の体験と比べる。 ☆答えは、2～3の形式段落、3～5文できている。 ☆書かれている事柄の順序がわかる。 (1) 問い (2) 場所(住み家) 【1文】 (3) 特徴【1～2文】 (4) 答え(見つけ方) 【1～2文】 ◇知っている生き物の場所(住み家)と特徴を発表することができる。 ④ ☆答えの段落には、「。」を手がかりに文が3つあることをとらえることができる。 ☆問いとクイズに書かれている事柄の順序がわかる。 ◇だんごむしの見つけ方と自分の体験から感想を話すことができる。 ⑤ ☆問いと3つの文型を順序よく並べ替えることができる。 ☆問いとクイズに書かれている事柄の順序がわかる。 ◇せみの見つけ方を自分の体験から感想を交流することができる。 ⑥ ☆3つの文型を順序よく並べ替えることができる。 ☆問いとクイズに書かれている事柄の順序がわかる。 ◇ばったの見つけ方と自分の体験から感想を交流することができる。	7「あきをかんじよう」の計画を立てる。 ・場所 ・みつけた (国語科で学んだ視点) 8「あきをかんじよう」で経験を生かしていきものをさがす。 9みんなや自分で見つけたいきものについて調べ、知っていたことと初めて知ったことをメモする。
【活かす】 深める段階での学びをもとに、「いきものくいず」をつくり交流する。(2)	10⑦ ③、④、⑤の学習を活かし、生活科で撮った写真を手がかりに「みつけたいきものくいず」をつくる。 11⑧自分で選んだいきものクイズをつくる。(本時)	⑦いきものの住み家や特徴をとらえ (3) (4)の事柄に沿って文を正しく書いている。 (発言、シート) 【読むイ-5】 ⑨選んだいきものの住み家と特徴をとらえ、(3) (4)の事柄に沿って文を正しく書いている。 (発言、シート) 【読むイ-6】	⑦ ☆3つの文型に書かれる内容と必要な情報を結び付けて文を書くことができる。 ☆問いとクイズに書かれている事柄の順序がわかる。 ◇いきもの見つけ方と自分の体験を入れて感想を話すことができる。 ⑧ ☆3つの文型に書かれる内容と必要な情報を結び付けて文を書くことができる。 ☆問いとクイズに書かれている事柄の順序がわかる。 ◇いきもの見つけ方と自分の体験から感想を話すことができる。	
【広げる】 「いきものクイズ」大会で交流し合うとともに、学んだことを価値づける。 (2)	12⑨自分の作った「いきものくいず」を交流し合う。 14⑩言葉の森集会で発表する。	⑨学習してきたことを活かして作られているか。感想を伝え合っている。(観察) 【読むオ-1】 ⑩単元の学習を通して学んだことなどを振り返っている。 (発言) 【関一2】	【身に付けさせたい言語能力】 ◎文章の型と内容に自分の経験とを結び付けてクイズにまとめる力 (問いと3つの文型と内容の関係)	13全校のみんなに伝えるために絵を準備して、練習する。

身に付けさせたい言語能力を説明文の構成要素として盛り込むことで、言語活動を通して言語能力を身に付けさせることに迫る

8 本時の指導 (8/10)

(1) 目標

・絵や自分の経験を手がかりに、書かれている内容と必要な情報を結び付けて、言葉を書き込んだり、文を選んだりして、説明の文(クイズの文章)を完成させることができる。

(2) 思考力・判断力・表現力を高める指導にあたって

本時は、いきものの住み家(場所)と特徴から、その特徴に合った見つけ方使い方を読み取り順序よく説明する力を付けさせたい。また、読み取ったことを活かして、自分の経験(生活科「あきをかんじよう」の「いきものかあど」のメモ)から、クイズを作成させたい。そのために、(1)の問いの文に対応する答えとして、選んだいきものの住み家(場所)を絵や経験からとらえさせて(2)の文型に書かせたい。また、そのいきもの特徴を見つけ方と関わらせて(3)の文型に書かせたい。そして、そのいきもの特徴が見つけ方とどう関わるのかを考えながら、(4)にあたる文を選んだり、言葉を書いたりさせたい。その際、(2)の文で使ったいきものの住み家(場所)を表す言葉や特徴を表す言葉が使われていることや特徴をいかした見つけ方になっていることを根拠として絵や経験と結びつけながら話し、交流することで、いきものの住み家(場所)と特徴や見つけ方の関係の理解を確実なものにしていきたい。

(3) 展開

時間	学習活動	学習内容	指導上の留意点と評価規準
⑤	1 本時につながる学習の想起をする。 2 学習課題を確認する。 じぶんがえらんだいきもののくいずをつくろう。	【「いきものくいず」の構成】 ・4つの文型 (問い・場所・特徴・見つけ方) ・絵やメモを手がかりにすること。 ・場所・特徴と見つけ方は関わり合っていること。	・前時までに学んだことから「いきものくいず」を作るために必要な4つの文型カードを提示す。 ・いきものかあどの「絵」や「メモの項目」から、クイズを考えることを確認する。 ・本時は、生活科で観察したいいきもののくいずを自分の力で作ることを確認し、絵入りの学習シートを配付する。
③②	3 選んだいきものについて順序よく説明するクイズを作る。 ①4つの文型の順番を確認する。 ②初めの段落にある(1)の問いの文を書く。 ③いきもの住み家(場所)を(2)の文に書く。 ④いきもの特徴を(3)の文に見つけ方と関連づけて書く。 ⑤(4)にあたる文を、場所と特徴と関わらせながら書く。 ⑥作った文の内容がいきものクイズになっているかを確認する。 ⑦出来上がった文を見合う	【4つの文型の順番】 (1) 問い (2) 場所 (3) 特徴 (4) 見つけ方 【いきものの住み家(場所)・特徴を読み取る視点】 ・場所…にわ、こうえん、かだん、木のみき、えだ、くさはら、かわ、みずたまりなど ・特徴… a くらい、しめっている、 b 鳴く、 c 〇〇とにている d 〇〇の上 【いきもの見つけ方の文を選ぶ視点】 ・いきものの住み家(場所)と特徴を関連づけた見つけ方をした文を考えているか。 a どける。 b 〇〇のところをさがす。 c 〇〇すると、△△で見つけることができる。 d 〇〇の上を見る。	・提示した文型に合わせて書くことを確認する。「～にいます。」 ・住み家(場所)と特徴がとらえやすいように、場所やいきものをアップにした絵や写真を活用する。 ・いきものかあどをもとに、場所、特徴、見つけ方を確認させる。 【具体的評価規準】 3の活動において(読む1-6) A: 絵やメモをもとに場所や特徴について複数の自分の経験を要素で書き、その特徴に結び付けて見つけ方を書きこみ順序よく説明するクイズを作る。 B: 絵やメモから場所や特徴に自分の経験を結び付けて見つけ方を書きこみ、順序よく説明するクイズを作る。 C 児への支援 いきものの住み家(場所)を表す言葉をいくつか提示して選ばせる。また、特徴の部分の絵にあたる言葉を言わせ、シートに書かせる。(4)の穴あき文を提示し、見つけ方を当てはめさせる。
⑧	4 学習のまとめをする。 ①振り返りを記述する。 ②振り返りを交流する。 5 次時の学習内容を確認する。	・住み家(場所)がわかったか。 ・いきもの特徴を書くことができたか。 ・場所や特徴に合った見つけ方の文を考えることができたか。 ・クイズから知っていることと初めて知ったことが区別できたか。 ・今日の学習が楽しく進められたか。	・学習内容に関わる項目をもとに自己評価する。 ・自分のできたところや友だちの頑張りを発表させ、認め合うようにさせる。 ・次時は、「いきものクイズ」発表会を開くことを確認する。